

本様式は、1つの指定業種に属する事業のみ営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

認定権者（海南市）記載欄		

様式第5－（ハ）－①

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（ハ－①）	
令和 年 月 日	
海南市長 様	
申請者	所在地：海南市
	事業所名：
	連絡先：
	氏 名：

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、（注1）の増加が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

表					

※表には営んでいる事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を全て記載（当該業種は全て指定業種であることが必要）。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい業種を左上の太枠に記載。

記

1 事業開始年月日	年 月 日
2 月平均売上高営業利益率（注2）	
$\frac{B-A}{B} \times 100$	減少率 %
A：申込時点における最近3か月間の月平均売上高営業利益率	%
（ 年 月 ～ 年 月）	
B：Aの期間に対応する前年の3か月間の月平均売上高営業利益率	%
（ 年 月 ～ 年 月）	

第 号	令和 年 月 日
信用保証協会への申込期間	申請のとおり相違ないことを認定します。
令和 年 月 日から	海南市長 神 出 政 巳
令和 年 月 日まで	（公印省略）

（注1）外的要因及び増加している費用を入れる。
（注2）企業全体の月平均売上高営業利益率を記載。
（留意事項）
① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
② 市長から認定を受けた後、本認定の申込期間内に信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。
③ 特定中小企業者認定要領（41企庁第53号）により、公印省略し、受付印をもって認定することとします。

表 1：事業が属する業種毎の最近 1 年間の売上高

業種（※）		最近 1 年間の売上高	構成比
		円	%
		円	%
		円	%
		円	%
企業全体の売上高		円	100%

※：業種欄には、営んでいる事業が属する全ての業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。細分類業種は全て指定業種に該当することが必要。

表 2：企業全体の最近 3 か月間の売上高および営業利益

	令和 年 月	令和 年 月	令和 年 月	3 か月間の合計
営業利益	円	円	円	【 a 】 円
売上高	円	円	円	【 b 】 円

最近 3 か月間の月平均売上高営業利益率

$$\frac{\text{【 a 】 円}}{\text{【 b 】 円}} \times 100 =$$

最近 3 か月間の月平均売上高営業利益率

$$\text{【 A 】 \%}$$

表 3：企業全体の前年同期の売上高および営業利益

	令和 年 月	令和 年 月	令和 年 月	3 か月間の合計
営業利益	円	円	円	【 a ’ 】 円
売上高	円	円	円	【 b ’ 】 円

前年同期の月平均売上高営業利益率

$$\frac{\text{【 a ’ 】 円}}{\text{【 b ’ 】 円}} \times 100 =$$

前年同期の月平均売上高営業利益率

$$\text{【 B 】 \%}$$

(最近 3 か月間の企業全体の月平均売上高営業利益率の減少率)

$$\frac{\text{【 B 】 \%} - \text{【 A 】 \%}}{\text{【 B 】 \%}} \times 100 = \text{ \% } \geq 20\%$$

上記のとおり、相違ありません。

令和 年 月 日 住 所

申請者名

(注) 認定申請にあたっては、指定業種に属する事業を営んでいることが疎明できる書類等（例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など）や、上記の売上高が分かる書類等（例えば、試算表や売上台帳など）の提出が必要。

(注) 小数点第 2 位以下は切り捨てとし、小数点第 1 位まで記載ください。